調査・研究を担う職員の紹介

2025年4月

職名	氏名	専門分野	研究テーマ
			近年の主な実績
史料学芸部長	小川 貴行	考古	主に縄文時代の交易・交流について、研究しています。
			R2 特別展「Jomon Period—縄文の美と技、成熟する社会—」
■歴史資料課／古文書の収集・整理・保存・公開及び調査・研究を行っています。			
歴史資料課長	笹目 礼子	近世	一橋徳川家文書を中心に武家の奥向、交際儀礼を研究しています。
			R6 日曜歴史館「石河明善日記で読み解く幕末の水戸藩」 R5 日曜歴史館「一橋徳川家と筑前福岡黒田家—養子縁組と内願—」
課長代理 兼首席研究員	山縣 創明	中世	中世後期、とくに戦国時代の東国について、佐竹氏を中心に研究しています。
			R6 史料叢書28『水府志料附録—水戸・茨城郡・那珂郡—』 R5 史料叢書27『常陸遺文・統常陸遺文』
主任学芸員	武子 裕美	近世	御三卿の研究並びに地域史料の研究・保全・利活用の実践を行っています。
			R6 「一橋徳川家の領知」(歴史館報第52号) R4 史料叢書26『一橋徳川家文書 家臣関係史料』
研究員	沼澤 佳子	近世	水戸藩土原市之進、付家老中山家について研究しています。
			H24 「水戸藩前期における付家老中山家の位置とその確立」(歴史館報第39号)
■行政資料課／行政資料の受入・整理・保存・公開及び調査・研究を行っています。			
資料調査専門員	富田 任	近現代	近現代史と行政資料について、調査・研究しています。
			R6 企画展(アーカイブズ展)「歴史を紡いだ茨城の先人—岩上二郎、長久保赤水、菊池謙二郎、小野友五郎—」 R5 「歴史館設立の経緯—資料紹介「茨城県歴史館基本構想」とともに」(歴史館報第51号)
■学芸課／展示及び調査・研究を担っています。			
学芸課長	由波 俊幸	歴史	水戸藩や徳川慶喜の動向を中心に幕末維新期の政治史を研究しています。
			R4 一橋徳川家記念室展示「一橋徳川家の幕末維新」 H29 特別展「志士のかたち—桜田門、天狗党、そして新選組—」
首席研究員	長谷川良子	歴史	本県にかかわる女性史や旅行史に関心があります。
			R5 旧水海道小学校パネル展示「戦後茨城の母子福祉運動家・鯉淵鮎子と水海道小学校」 R1 アーカイブズ展「黒澤止幾—幕末・明治の足跡を史料にたどる—」
首席研究員	廣瀬 昌子	民俗	近世から近代の歴史・民俗資料を調査・研究しています。
			R6 展示「昔のくらし」
学芸員	部 政人	美術・工芸	仏像・仏画などの仏教美術や中世水墨画を中心に、茨城県的美術作品について研究しています。
			R6 特別展「雪村—常陸に生まれし遊歴の画僧—」 R4 特別展「鹿島と香取」
学芸員	森戸日咲子	民俗	お祭りを飾るもの(特に山鉾屋台)や人が伝えてきた茨城県の生活文化について研究しています。
			R6 企画展「安部朱美創作人形展 昭和の家族—伝えるこころ—」 R6 展示「写真展 あゝ頃、茨城」
副主任学芸員	皆川 貴之	考古	古代の官衙・寺院や瓦、土器について研究しています。
資料調査専門員	飛田 英世	歴史	中世(～近現代)全般の資料を調査しています。
			R5 特別展「那珂湊反射炉—鉄と近代を創る—」 R4 企画展2「関東天台—東国密教の歴史と造形—」
資料調査専門員	小澤 重雄	考古	県内の古墳と、古墳が築かれた時代について研究しています。
			R6 特別展「名品、ゾクゾク—歴史館の半世紀—」 R3 企画展3「ふいす—掘り出された顔かたち—」

史料学芸部